

共に創る掛川
鈴木久裕



鈴木議員のすべて
の一般質問が視聴
できます



市の電力契約先の見直し状況は

Q 市の支払う電気料金が大幅増額になったことに関し、2月議

会では、電力契約先見直しやかけがわ報徳パワーの経営見直しをするとの答弁であった。市の電気契約先見直しは、どんな状況か。



一部の施設を契約変更、電気料等の動向を注視していく

A かけがわ報徳パワーの料金体系である市場連動型は、電力市場の高騰が続いた場合、夜間を含めて一日中、一定の電気を使用する施設の電気料金が高めになります。これに該当する上下水道11施設は契約を切り替え、5月の電気料は値下がり効果が出ています。しかし、固定価格制度の電気料も燃料調整費が高騰してきており、その動向を注視しているところです。

ミニ開発に対する防災対策指導の強化は

Q 面積1000㎡未満の民間ミニ開発に対しては防災施設

としての調整池設置は義務づけられていない。市にはこうしたミニ開発の積み重ねが水害発生要因となっている面もあるという認識はないのか。

下流域への雨水量増加は認識している

A 一般的に田んぼや畑などの農地や山林などには、一定の保水機能が備わっていますので、ミニ開発などの宅地化が進むことで、下流域への雨水の流出量は増加すると認識しています。

【その他の質問事項】

- ・市のホームページの改善とさらなる活用について
- ・裏山等で巨木化した雑木の伐採・更新等対策について

創世会
高橋篤仁



高橋議員のすべて
の一般質問が視聴
できます



南北道路のさらなる整備を

Q 商業・工業・観光・レジャーゾ

ンでの発展を目指すためには、今まで以上に物流や人流を促さなければならぬ。コンパクトシティ同士を結ぶ道路は、まちづくりの骨格を形成するためには重要と考えるが、今後の見通しを伺う。

広域的な視点から総合的に評価し必要性を判断する

A 今後の道路整備については、必要性や緊急性などを広域的な視点から総合的に評価し、事業化の必要性について判断したいと考えています。なお、静岡県主体で総合都市交通体系調査が実施され、令和6年度に都市交通マスタープランが策定されますので、その方針に基づき、掛川市の道路整備計画を検討していきます。

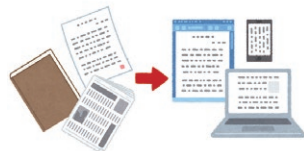
デジタル技術を活用した行政サービスを

Q 本年度から掛川市も専用職員を

登用し、行政サービスの向上を図っている。デジタル技術を活用した行政サービスは、どのようなものを用意しているのか伺う。

さまざまなデジタル技術を活用し、市民生活の質の向上を目指す

A 今年度は、オンライン申請の拡充や、道路の損傷などを通報できる「情報受付デスク」の運用を開始しました。また、「相談窓口支援システム」などの導入を予定しています。さまざまなデジタル技術を活用し、市民生活の質の向上を目指していきます。



【その他の質問事項】

- ・ビーチバレーコートについて